

育成福祉社会

編集・発行
 社会福祉法人：育成福祉社会
 発行責任者 事務局長：與那 盛昭
 〒901-1104 南風原町字宮平537番地
 TEL 098-889-2778 FAX 098-889-8648
 http://www.ifc-oknawa.jp/



つながりながら笑顔の輪

沖縄中央育成園 生活支援センター

平成二十九年四月から障がい者相談支援センターりんくで相談業務に従事することになった伊波です。以前から「いつか、りんくで相談業務に携わりたい」という思いがあり、希望がかなって嬉しく思っています。現在、計画作成のため利用者の自宅・施設・事業所などを訪問し、面談を行ったり、必要に応じて利用者の病院受診やハローワークでの職探しなどに付き添い、利用者に代わって状況説明など色々お手伝いをしています。利用者・家族との信頼関係を築き、関係機関と情報を共有し、利用者の方が施設や地域で安心・安全に生活ができるよう全力を尽くしてお手伝いさせてもらっています。色々と勉強中の現在ですが、相談支援専門員として、笑顔でがんばります。どうぞよろしくお願ひ致します。



障がい者相談支援センターりんく

平成二十九年四月から障がい者相談支援センターりんくで相談業務に従事することになった與那城です。作業指導員として従事している時、自立支援法が施行され、「障害のある方でも地域の暮らしへ」と福祉の在り方がシフトされていく中で、「地域で自立した生活をしたい」と希望している利用者の力になりたいと思っていたところ、りんくに配属となり、嬉しく思っています。現在六十六歳、B型事業所を利用している方の計画を担当しておりますが、「介護保険サービスの利用を計画したらよいのか?」「本人のニーズは何か?」など、六十五歳問題との絡みもあり、本人と面談を重ねながら、模索しています。また、利用者本人を含め、利用者を介護しているご家族も高齢となり介護力が低下していく中、「本人に合ったサービスは?」「ご家族をレスパイトに繋げるには?」など、難しいケースを担当し、相談支援専門員としての知識不足を実感しているところですが、りんくの先輩方や法人外事業所の方々との交流を通して、専門員に必要な知識を身につけることができるよう、楽しみながら頑張っています。

障がい者相談支援センターりんく 與那城

障がい者相談支援センターりんく

今年も例年になく沖縄の暑さは続く中、秋めいた夕刻時にふと、徳川将軍が築いた礎が現在の東京、延いては日本の発展を生んだ歴史になぞらえて、法人の歴史を振り返る時間がありました。現在、南風原の施設に面する道路拡張工事がいよいよ完成に近づいております。約五十五年前に民家や人通りも少なく、さらに車もまばらな時代の中、沖縄県で初めて障害児・者の施設を整備し、今日に至り発展し続ける南風原町と次に整備した八重瀬町を目の当たりすると先人の皆様方はきっと感慨深いものがあることでしょう。先見の目に頭が下がる思いです。

少し視点を変えて、この法人に一体何人の方々が職員として勤められたのか。我々は支援員をはじめとする数種の職種がありますので、きつと何千人という数字になるに違いありません。本法人に携わった職員の皆様は入所・通所を問わず、その時代に生活している利用者ご家族の方々暮らしに真摯に向き合い、時には法律の枠組みを超えた先駆的な事業等に取り組みできた歴史があり、現在に繋がっております。

現障害者総合支援法に至るまで様々な変遷を経てきましたが、先代の理事長がこの仕事に携わるものとして、障害の特性を理解し、何時の世も「のん気、こん気、げん気」をメッセージとして我々に贈って下さいました。このメッセージを根幹に、本法人の基本理念が確立されました。親の会を中心として設立され、現在に至るまでの経緯と先人たちが築いた道筋を伝え、同じく働く仲間として、夢と希望を抱ける法人の在り方について議論を深め、その構築に努めたいと思います。

育成福祉社会 事務局長 與那 盛昭

ゆんたく



沖縄中央育成園 生活支援センター

生活介護 作業療法士とはなあーに?!

十月二十一日(土)に行われた、全体職務会の中で、七月から生活支援センターに採用・配置になった作業療法士の上地愛香さん、知念和紀さん(四月採用あおぞら荘配置)により、職員に理解してもらう為に、プレゼンする機会が設けられ、仕事内容を紹介して頂きました。病気等により、活動に困難が生じた場合など、その人に必要な支援を、医師の意見書等を基に、個別支援計画書を作成し、支援員と連携してより良い支援を提供します。今後は、保護者の皆様に分かりやすく説明して、理解を得るところから進めていこうと考えています。(小橋)



歌姫はわたしよ!

去った九月二十八日(木)、生活介護は、ヘカオケハウス・ダイニングとまと)での園外活動を行いました。

利用者さんの中には、思いっきり飛び跳ねながら楽しさを表現する方や、一方では、歌うことよりも、フリードリンクとおやつに夢中になる利用者さんもいたり、それぞれ楽しみ方の違いこそありましたが、何れにしても、あちらこちらで笑い声あり、拍手、歓声が飛び交い、とても賑やかで楽しいひとときを過ごすことができました。

生活介護ではこのような地域参加型の支援を今後もどんどん企画していきたいと考えています。(兼濱)



放課後等デイサービス ひよこクラブ

夏休みの思い出にお泊まり会

八月十七、十八日、金武町のネイチャーみらい館で一泊二日のお泊まり会を実施しました。昨年度に続き、今年で二回目。今年は企画もバージョンアップし、普段の活動では味わえない体験をするという目標のもと、田んぼでどんこ遊びを行いました。子ども達も初めての感覚に、戸惑いながらも田んぼに寝転んだり、表情もニコニコでした。子ども達から「また遊びたい!」と声がかかる程、満足した様子が見られました。夕食はみんなでBBQ。お肉の焼ける音に、テンションが上がる子もいて、「いらつしやい、いらつしやい」と屋台の呼び込みが始まりました。家族以外で初めてお泊まりした子の保護者からは、「一日だけのお泊まりであったが、戻ってきた時はたくましくなっていた」と話があったり、子ども達からは「来年はどこに泊まるの?何をやる?」と早くも楽しみにしています。(金城)



児童発達支援 ひよこクラブ

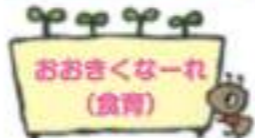


今日はお山にする それとも川

子ども達が伸び伸びと遊べるように育成園の裏庭の砂場を整備しました。

砂遊びでは大きな山やお池を作ったりダイナミックに遊び、砂場での感触遊びを楽しんでいました。

さらさらの感触や汚れることが苦手な砂遊びが出来なかつた子はスリッパに履き替えたり、砂場にマットを敷いたりしながら参加。いつの間にか友達に刺激を受けて、スリッパを脱いで、お山を作って、トンネル掘りに夢中になっていました。(内藤)



楽しく食育をと考え、子ども達と夏休みから畑で野菜作りを始めました。

畑の土作りはあさひ寮の職員やプロの方の協力を得てスタート。子ども達はみんなで購入してきた苗の植え付けと作った野菜の表示を差しこんで「ひよこクラブの畑」が完成。

「おおきなれ」と水かけ、声かけを頑張りました。

秋には「きゅうり」「ゴーヤー」がたくさん育ち収穫。自分たちで育てた野菜でおやつ作りをしました。ゴーヤージュースにゴーヤーチップ

「いただきます」初めてのゴーヤー挑戦

「おいしい」「おかわり」

最初、不安そうだった子ども達の表情が笑顔になりました。(内藤)

放課後等デイサービス ひよこクラブ



和紙を水に浸して柔らかくし、手でクルクル丸めます。



丸めた和紙を外に置いて乾燥させます。



イラストに出来上がったものを貼っていきます。

夏休み期間を通して、ひとつの作品作りを目指し取り組みを開始しました。和紙を水に浸して丸めるという作業の中で、子ども達が自然と丸める・丸めた和紙をお盆に並べる・和紙の個数を数えるなどの作業分担を決め、協力しながら作業を進めていきました。毎回出来上がった個数を紙に書いて掲示していたのが気持ちの向上に繋がりが、「昨日には負けたくない!」「前よりも十個多く作る!」など三〇分の製作時間で最高三〇〇個を作り上げました!

丸めた和紙を乾燥させ、最後は子どもたちが選んだイラストで作品が完成しました。鬼が大好きな鬼は仕上がった作品を見て満足な表情を見せていました。(渡邊)



来たぞー夏休み!!



パイナップル・トレイン



ハイチーズ!

普段出来ない、体験や遠出を思い切り楽しむ目的で、七月二十八日、名護パイナップルパークへ遊びに行きました。

当日は、天候にも恵まれ、子ども達は、朝から大はしゃぎ、現地に向かう車内でも、好きな音楽を流し、テンションを上げていました。昼食は子ども達のリクエストで、名護の A & W でハンバーガーを食べ満足そうにいました。昼食後、パイナップルパークに到着しパーク内では、パイナップルトレインやパイナップルカーに乗車し、ガイドさんの説明やクイズに答えたり、パイナップル畑を眺めて楽しんでいました。ツアーの最後には、皆でアイスクリームを食べ、充実した夏休みのひと時を過ごし、帰りの車内では今日の思い出を笑顔で語り合っていました。(久志)

名護パイナップルパーク見学



沖縄中央育成園あさひ寮



海水浴を終えた後は、あさひ寮の食堂にてかき氷などを食べて今日の出来事を思い返し、皆さん笑顔浮かべていました。(嘉手苺)



海、気持ちいい!



準備体操~! イチ、ニー、サン

キラキラビーチ

夏休みに入り、子ども達にとつて今年初めての海。自然を肌で感じ満喫したいと八月八日、ひよこクラブの児童達との交流を兼ねて海水浴を行いました。現地集合した後は、広場にてみんなでラジオ体操を行い、職員からの注意事項をしっかりと聞いた後、入水の合図と共に子ども達は勢いよく海へと飛び込んでいました。日差しが強い中、暑さにも負けずに子ども達は、海で大はしゃぎ。職員と水かけ合ったりするなど、職員も一緒に楽しんでました。

海水浴を終えた後は、あさひ寮の食堂にてかき氷などを食べて今日の出来事を思い返し、皆さん笑顔浮かべていました。(嘉手苺)

島袋彩萌さん 祝初選挙!



18歳になって、生まれて初めての選挙に行ってきました。少しドキドキしたけど、やり方を教えてもらい投票する事が出来ました。また、行きたいです。(島袋彩萌)



暑いタオルと冷たいタオルどっちが気持ちいい?



仲良しな子との距離感!

思春期の利用児が多いあさひ寮。異性との正しい距離間などを学ぶ目的で性教育にも力を入れています。心理担当職員を中心に性教育を馴染みやすい名前にしたという事で、「SAY(性)ースタ(スタディー)」の名前になりました。

八月四日には、那覇特別支援学校で性教育に携わっている船越先生を招いて、あさひ寮利用児と職員合同の性についての勉強会を行いました。異性との距離感や「良いタッチ、悪いタッチ」をゲーム感覚で教えてもらい、とても勉強になる一日を過ごす事が出来ました。(野村)

性教育名付けて「SAYースタ」



地域交流の一環として南風原町照屋の綱引き大会に利用者さん九名職員五名で参加しました。大会前日に行われた綱作りでは、地元の方の指導の下、綱を持つ係と編む係に分かれ掛け声を掛け合いながら作りました。大会当日には十八時頃から「道ジュネー」に参加し、打ち鳴らされるドラやすりやねの音に合わせて「さあーさあー」と大声を上げながら地元の方や子どもたちと一緒に区内を練り歩きました。二十時頃からは東(アガリ)と西(イリ)に分かれていよいよ綱引き本番!。一生懸命引っ張ろうね!と女子利用者さんはやる気マンマン!結果は東西一勝負の引き分けでした。利用者さんの楽しそうな表情が随所に見られ、また地域の方々との交流が少しずつ深まりよい体験になりました。照屋区の皆さんありがとうございました!(大城)

照屋区綱引き大会



沖縄中央育成園あおぞら荘



サイクリング 最高!!



八月二十四日(木)に糸満市創造の森公園へ園外活動へ出かけました。自転車やソリをレンタルし自転車グループと草ソリグループに分かれてそれぞれ楽しみました。自転車グループでは青い空、心地よい海風を感じながらサイクリングを楽しみました。Yさんは上手に自転車をこいで思い思いに公園内三十分程を駆け回って満面の笑顔を浮かべていました。草ソリグループでは初めて体験する方もいて、公園の斜面を恐る恐る滑り降りる方や一人で黙々と何度も繰り返して滑り続ける方など様々な表情を見ることが出来ました。(新垣)

サイクリング&ソリ



何が いいかな?~?



あっ!これ見たい!



あおぞら荘では、以前から余暇時間などにインターネット動画を楽しむ時間を設けています。特にTさんは懐かしいCMや子ども向け番組の曲(小さい頃によく見ていた?)などが大好きで「コダック(CM名)お願いします。」「どうさんのおはな(曲名)お願いします。」と支援員にリクエストしては再生動画を楽しんでいました。動画鑑賞を本格的に取り入れて一年ほど経過したある日、スマートフォンでエーチューブを見ていたTさんが、再生リストから観たい動画を自身でタップして選んでいた所を発見して支援員もビックリ!!どうやら支援員がスマートフォンを操作する様子を見ていつの間にか覚えたようでした。その他、Iさんも同様に、ノートパソコンのマウスの操作を覚えており、何事も経験が必要である事を改めて実感しました。(浜本)

新たな長所 発見!



ワイクプラザ 南風

事業所説明会

新卒生の進路決定に向けて事業所見学会を開きました。鳥尻・西崎・大平・鏡が丘の特別支援学校へ案内を掛け九組の親子の参加がありました。ガイドを先頭にツアーがスタートすると実際に働いている現場を熱心に見学されており終了後は、喫茶みなみちゃんを体験してもらいました。お土産のポップコーンと苗木も好評でした。(宮里)



喫茶みなみちゃん



見学ツアー



リサイクル見学



自治会挨拶

栄養会(BBQ)

暑い夏をみんなで乗り切ろうと栄養会でバーベキューを開催しました。初めてという事もあり、利用者さんは始まる前からテンションが上がり、スイカ割りやカラオケ等を楽しんでいました。バーベキューのお肉が焼き上がると、「美味しい。」や「おかわりする。」等の声も上がり終始笑顔で過ごし、利用者さんからは「次は鍋が食べたい。」との声もあり、次回の栄養会のリクエストも聞く事が出来ました。(嘉手苅)



いっぱい食べよ



スイカ割り



美味しいの作るよ



納涼祭

秋晴れの中、毎年恒例の納涼祭を行いました。「盆踊り楽しいね。エイサーかっこいいね。」との声があり、バルーンアートやお笑いの余興も楽しんでもらえました。(宮城)



イエーイ!



生活介護作品

日中の取り組みの中で、生産活動以外に、創作活動にも取り組んでいます。毛糸を使い、箱網でマフラーや帽子を編んだり、ちぎり絵にも挑戦し、得意な分野で作品を作り過ごしています。(源河)



上手でしょ☆



地域交流七夕会♪

かねぐすく保育園のはと組さんと少し遅めの七夕会を行いました。沖縄健康長寿大使のごつちゃんも来てくれ園児や利用者さんは大はしゃぎ。職員が作ったバルーンアートの作品も「欲しい」と舞台に駆け寄る姿もあり、ごつちゃん体操に歌や踊りと笑顔が溢れる会になり、最後に願いを込めた短冊を皆で笹に飾り、楽しいひと時を過ごしました。(川平)



タオルたみなら任せろー!

いつもタオルたみを進んで取り組んでくれるのが、長則さんです。「タオル畳みお願ひできますか?」と尋ねると、「いいよ」と元気に一声。「一枚一枚丁寧にたたんでくれますか?」「今日は職員がたたみましようか?」と尋ねるも「大丈夫、やるよ」と答えて本人の役割となっています。畳み終えると、「一人でいっぱいたたんだよ」と嬉しそうに達成感を感じています。(興儀)



園外活動

ニュースで津波や地震の映像を見ていた、利用者さんより「地震でどんな感じなの?」との質問で沖縄市消防署にある地震体験室で東日本大震災級の揺れを体験してきました。3D映像での津波体験の後で「こわい」と拒否をする方もいましたが、車椅子の方も職員と一緒に体験でき、怖がりながらも貴重な体験が出来ました。(宮城)



笑い健康・笑いヨガ

去った七月十四日、「笑いヨガワールドフエスティバル」三沖繩」に行ってきました。笑いヨガとは笑うエクササイズで、学園でも日課活動に取り入れていきます。県外支部の皆さんも来沖しての歌や踊りの披露に大盛り上がり!「すごいね!」と圧倒されたながらも笑顔で楽しんでいました。(玉城)



充実した1日 外出リハビリ編



よもぎ学園

今年度より作業療法の一環で小グループでの外出リハビリを行っています。外出することにより担当職員と利用者さんがお互いの関係性を育み、そして楽しみ、よりよい体験を通して意味のある時間を過ごして頂きたいと実施しております。また、利用者さんの声に沿った場所選定をしており、今回は「飛行機が見たい」との声を聞き、モノレールの利用・空港見学・ショッピングセンターでの飲食を楽しみました。(島袋)



今回、同行した職員より、搭乗口で待機している飛行機を見て、「うあー」と声を出したたり、「大きいなあ」と驚きの表情をされている方もいました。外出時は活気があり笑顔も多く、「また行きたい」との声も聞かれ、利用者さんが楽しんでいる様子が伺えました。(浦崎)



十月十九日(木)に初の衆議院選挙、期日前投票に行ってきた。どの候補者に投票するか、利用者同士で「誰がいいかね」と話していました。投票所では、候補者の写真を見て選んでいるようでした。用紙に名前を書くときにも、悩んでいるようでした。記入に時間がかかっている利用者もいました。投票が終了し、学園に戻ってくると、職員に「選挙行ったよ!」「投票した!」と誇らしげに話していました。(眞栄田)

里みある清き一票を



てだこ学園



七月、梅田真佑子さんが入所してきました。身体が大きく、元気いっぱいなの真佑子さん。真佑子さんが歩くと、地響きがあります。でも笑顔が可愛く、名前を名乗ると際は、「う・め・だ・まゆこ・なの」と独特の言葉使いがまた可愛いです。(中島)

梅田真佑子なの?

七月十三日、日中活動の一環としてドライブに出掛けました。この日は女子メンバーだけのドライブ。平和記念公園でお弁当を頂いた後、沖繩市にあるミニミニ動物園に行きました。うさぎや亀を見て、「かわいい!」と歓声を上げる利用者や、お箸の端まで迫ってきて威嚇するダチョウにびっくり。でも、孔雀が羽を拡げると皆うつと眺めていました。ミニミニ動物園と言えはお決まりのスニーカー。動物を見た後は、定番のシュークリームに舌鼓。楽しいドライブでした。(中島)



動物園でスイーツ

今年度、担当となりました久場さん、宮里さん、大城さん三名の趣味の活動を紹介します。久場さんは三角や半円等の図形が好きで、色鉛筆でカラフルな図形を描きます。その日の気分で作る色が変わります。赤・黄色の明るい色の日は、「楽しかった事がありましたか」と尋ねると、「ん」と笑顔で微笑みます。宮里さんはボードに記された色と同じベクトルの蓋を丁寧に並べていきます。集中すると支援員が声をかけても黙々と並べています。大城さんは、中学校時代に始めたという書作活動を好んでおり、書く言葉は、一日を振り返って楽しかった事や良い気持ちになった出来事を支援員と一緒に考えて、肯定的な気持ちを感じられるような活動を行っています。たくさん残った作品を残して、見てもらっています。(玉木)

寡黙なアーティストトリオ

てだこ学園では毎食後に洗面所での歯磨きを終えた後、銘苅盛昌さんと外間克彦さんが、一生懸命清掃を行ってくれます。男子利用者全員の歯磨きが終わると、職員に「掃除しようね」と盛昌さんが声掛けして、雑巾で洗面台を拭き、克彦さんが床のモップ掛けを行います。清掃は集中して角の細かい汚れも綺麗に拭き取ってくれます。終了後に「毎日洗面所が綺麗なのも、盛昌さんと克彦さんのおかげですね」と伝えられると、「いい」と満面の笑みで答えてくれます。(古波蔵保智)

歯磨きを終えた後は?



あけもどる学園

テダモドリアンズ結成

会場は大盛り上がり!

Bass 宇久!

練習の様子

バンドマスター東!

「利用者さんに生の音楽を聴かせたい」との思いを胸に、てだこ、あけもどるの両学園から構成されたバンドグループが誕生しました。その名は「テダモドリアンズ」。中心人物である、バンドマスターの東支援員はこう語る。「よし、やろう!」の言葉を行動に移した。だこ。九月に行われた納涼祭では、会場全体を一つにし、笑い感動の渦を巻き起こしました。メンバーの殆どが未経験者で不安もあったようですが、練習を重ねた結果、大成功させる事が出来ました。「人を喜ばす為には努力を怠りたくない」とそのスタイルで今後も学園を盛り上げて欲しいと思います。頑張れ!テダモドリアンズ!(金城)

あけもどるのお助けウーマン

チームお助けウーマン。上!チリ袋作りから板チリ紙折り、ウエスのカットに何でもござれ!それぞれの得意分野を活かし、今日もお助けウーマンは、あけもどる学園の緑の下の力持ちです。(宮城珠代)

流しそうめん会

夏の風物詩である「流しそうめん」。初めての試みでしたが、そうめんが流れてくると我先にと箸を伸ばしています。上手く食べる人もいれば、箸からすり抜けていく人もいます。上手くいかないからこそ、すぐれた時の喜びは大きいもので、満面の笑みを浮かべながら楽しんでいました。麺つゆにつけたそうめんを頬張る姿は、夏を感ずる一時でした。(長瀬)

夏はやっぱり流しソーメン

いっぱい食べようね~

上手に切ってます!

上手に切ってます!

みんなで楽しく板チリ紙折り!

掃除用ウエス作り

チリ袋作り

保護者合同レクリエーション

六月、今回はいつもと違った、保護者参加型の合同レクを行いました。また、3B体操の講師も招き、3B体操で準備体操を行った後、チーム対抗戦でレクリエーション(風船バレー、フリースロー)を行いました。利用者さんはもちろん、保護者さんの方も大盛り上がりでした。最後は、大好きなお菓子取りゲームを行い、充実した中、保護者合同レクを終えました。利用者さんも保護者さんも、職員も、皆さんいい汗を流していました。(宮城祐輝)

風船バレー対決!

保護者と一緒に3B体操

フリースロー対決!

新職員紹介

支援員 太田 亜子

看護師の経験を活かし、支援員として活動します。

支援員 大城 秀人

前職は老人介護施設で働いていました。その経験を活かし活動します。